東福保育園　　0歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	ふうせんにふれて遊ぶ

2026年　　3月　　11日（水）

子どもの姿	・ふうせんを持って歩いたり、床にあるふうせんを手でさわって動くのをじっと見ては這い這いで追いかけようとする。 ・風船をなげてみようとする。 ・保育士に上に投げてもらうことを喜ぶ。
「問い」を考える	・いろいろなふうせんをみたりふれたりしてどのように遊ぶのか。
活動をデザインする	・気に入った色や大きさのふうせんを見つける。 ・ふうせんのトンネルを作り、這い這いで通るなど体を動かして遊ぶ。
環境をデザインする	・たくさんのふうせんを用意し、自由に選んでふうせんにさわれるようにする。 ・ふうせんベッドを用意する。（２つ）
小グループを構成する	・一人ひとりの表情や仕草をよく観察し、様子に合わせたことばがけをする。
振り返り	単体のふうせんは８つの原色を用意した。出してすぐに自分のお気に入りのふうせんを見つけ最後まで手放さなかった子もいた。この年齢だが少しずつ色の認識をし、色があることで遊びに興味を示し、楽しめることにもつながるのだと改めて感じることができた。 振り返りの中で２つのふうせんベッドをばらばらに置いたら子どもたちがどのように遊ぶかなど、こちらで設定し過ぎずに子どもたちの自由な発想を受けとめていくことも大事だと反省する。

子どもの言葉・姿	写真
・ふうせんを見てすぐに触ろうとする。 ・いろいろな色のふうせんに触るが自分の好きないろのふうせんを見つけるとそのふうせんをずっと持ち歩く。 ・自分で上に投げてみようとする。 ・保育士が手でふうせんを上に上げると落ちてくるのをじっと目で追う。下に落ちたふうせんを取り、「もっかい(もういっかい)」と同じことをやってほしいことを伝える。 ・手でふうせんが回ると何度も繰り返し回してみてはふうせんを追いかける。 ・ふうせんのトンネルを這い這いで繰り返し通る。 ・歩いて通れることに気づき、何度も通る。 ・トンネルの中で止まり、上を見上げてふうせんを指さしてみたり、手のひらで叩いて感触を楽しむ。 ・トンネルの中から「ばぁ」と顔を出す。 ・トンネルを通る際も自分の好きな色のふうせんは手放さずにずっと持ち歩く。 ・ふうせんベッドになるとすぐに手のひらで叩いてみたり、這い這いで登ろうとする。 ・横になってみたり、ベッドの上を這い這いする。 ・袋のバリバリした音が怖くて側に近づくことを嫌がる。 ・ベッドの上でバランスをとりながら立ち上がる。	